

# 令和7年度 第1回 飯田市地域公共交通改善市民会議【会議記録】

日時：令和7年6月19日（木）午後2時～午後2時40分  
場所：飯田市役所C棟3階 C311・C312・C313 会議室

■出席 32名 欠席 5名

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 協議事項等

### (1) 令和7年度役員の選出について（P3）

- 事務局より説明。事務局案のとおり承認。

会長：羽場まちづくり委員会 会長 代田 康弘

副会長：川路まちづくり委員会 会長 久保田 聖昭

監事：三穂まちづくり委員会 会長 荒井 三千秋

監事：飯田商工会議所 事業課長 井坪 伸治

### (2) 令和6年度事業報告、決算報告及び監査報告（P4～P5）

- 事務局より説明。荒井監事から監査報告。→質疑なし。報告のとおり承認。

### (3) 令和6年度輸送実績（P6～P12）

- 事務局より説明。→質疑なし。

- 信南交通より近況の説明。

令和7年度4月、5月の2か月間の状況について報告する。当社が運行を担当するバスの60%を占める広域バス駒場線の利用者数が大きく減少しており、94.2%となっている。駒場線は高校生の利用が半数以上を占めるが、系統別で見ると、阿智高校の系統が87.7%、飯田高校の系統が90.9%となっており通学便の減少が目立つ。それ以外の日中便「切石経由」や「昼神温泉経由」は10%ほど増加となっているため、少子化、生徒数の減少が大きく影響していると考えられる。他の広域バス阿島線、市民バス循環線、広域バス遠山郷線は前年度よりも利用者数が増えている状況。

### (4) 令和7年度事業計画（案）、予算（案）（P13）

- 事務局より説明。→原案のとおり承認。

- 南信州広域連合事務局より【質問】

自身もバスロケーションシステム「くるら」を有効活用している。参考までに、システムの維持管理経費が毎年どれくらいかかるのか。

- 事務局より【回答】

車両にGPS端末を付けているため通信費が発生する。また、システムの保守をシステム会社にお問い合わせしている。これらを合計して、年間約42.6万円ほどである。

(5) 地域公共交通計画の認定申請

①令和8年度地域間幹線系統別確保維持計画（P14～P19）

②令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画（P20～P26）

- 事務局より説明。→南信州地域交通問題協議会を通じて国に提出する。

- 長野運輸支局より【質問】

21ページ上段の表で、乗合タクシー平岡線のR6実績が0.9人となっている。乗合タクシーは予約が必要な乗り物だと思うが1人を切る理由を教えてください。また、21ページ下段の表で、乗合タクシー遠山郷高校通学支援船の運賃収入が0円である理由を教えてください。

- 事務局より【回答】

まず乗合タクシー平岡線について。「乗合タクシー」という呼び名ではあるが、実際は定時定路線で運行しており、一部のバス停のみ予約が必要という形をとっている。よって、運行するが誰も乗らないことがあるため、0.9人という数字になってしまう。続いて、乗合タクシー高校通学支援線について。この路線は、広域バス遠山郷線の定期券で利用可能としている。よって、この路線を利用するためだけに定期券を買った、1回ごと運賃を支払ったという高校生がいなかった結果である。

(6) 公共交通の日（P27）

- 事務局より説明。→質疑なし。

(7) 令和7年度運行業務に係る特定事業者について（P28）

- 事務局より説明。→質疑なし。

4 その他

- 南信州地域振興局より

みずずハイウェイバスについて、チラシに沿って宣伝。

- 事務局より

「バスロケーションシステム」、「乗合タクシーの共通乗入エリア」について宣伝。

5 閉会